

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI一覧まとめ

【資料4】

達成度指標

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上 C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%未満

1. 基本目標の目標値達成度

基本目標1. 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
就業者数※1	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)※2	— 人(令和7年)※3	—

※1 国勢調査の数値による

※2 人口減少に伴い生産年齢人口が減少しても、平成27年の就業者の割合を維持するという考え方にに基づき目標値を設定している。

※3 実績値について、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能であるが、数値の公表日が令和9年(2027年)3月のため、令和9年度砂川市総合戦略推進委員会で報告予定。

基本目標2. 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	1,428.8千人(令和7年)	B

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	57人(令和7年)	C

基本目標4. 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
人口増減率※	△7.04%(平成27年～令和2年)	△5.13%(令和2年～令和7年)	△9.11%(令和2年～令和7年)	C

※5年間の人口増減率

合計 A: 0個(0%) B: 1個(25.0%) C: 2個(50.0%) D: 0個(0%) 算出不可: 1個(25.0%)

2. 施策・事業のKPI達成度

基本目標	達成度A	達成度B	達成度C	達成度D
1. 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる 事業数: 8 KPI数: 7	3個(42.9%)	0個(0.0%)	4個(57.1%)	0個(0.0%)
2. 新しいひとの流れをつくる 事業数: 7 KPI数: 9	4個(44.5%)	2個(22.2%)	2個(22.2%)	1個(11.1%)
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 事業数: 20 KPI数: 19	10個(52.6%)	3個(15.8%)	4個(21.1%)	2個(10.5%)
4. 安心して暮らし続けることができる地域をつくる 事業数: 16 KPI数: 14	11個(78.6%)	2個(14.3%)	1個(7.1%)	0個(0.0%)
合計 事業数: 51 KPI数: 49	28個(57.1%)	7個(14.3%)	11個(22.5%)	3個(6.1%)

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標 1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値に対する所見
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	—	実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能であるが、数値の公表日が令和9年(2027年)3月のため、令和9年度砂川市総合戦略推進委員会で報告予定。
			実績値	—	—	—	—	—	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 人材育成・雇用対策										
① 地域人材の就労支援										
豊かな労働環境の充実支援事業	砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7%(令和元年)→40.0%(令和7年)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	A	市内就職者率は前年より増加した。就職率の増加もあるものの、市内就職者数の増加によるところが大きく、引き続き効果的な取り組みを検討していく。
		実績値	36.6	25.0	24.0	40.0	48.5	—		
② 企業立地等の促進による就労の拡大										
雇用創出事業(企業振興促進対策事業)	施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人(令和元年)→15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	A	新たな施設新設等の補助実績がないため、実績値としてはあがっていないが、今後2社(シロ、ライフニックス)に施設建設の補助予定のため、引き続き事業を継続していく必要があると考える。
		実績値	0	0	0	18	0	18		
③ 医療・介護従事者等の確保・育成										
介護人材育成支援事業	研修終了者数 ／1人(令和元年)→35人(5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	C	前年度より拡充した対象施設も含め受講後も継続して就労した3名が補助対象となった。引き続き、介護人材の安定確保のため制度活用の推進に努める。
		実績値	7	6	5	0	3	21		
④ 農業の担い手の確保・育成										
農作業受託組織等育成支援事業	農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。今後も組織の設立を促進していくとともに、農作業を受託している団体等へは機械導入費用などを支援する。
		実績値	0	0	0	0	0	—		
新規就農者支援事業	新規就農者数 ／3人(第1期6年間)→4人(5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	A	今年度は1人(施設園芸)が新規就農した。今後も引き続き新規就農者の誘致の取り組みを図るとともに、新規就農者に対して農業機械や資材等の購入への支援を実施する。
		実績値	2	0	1	1	1	5		
(2) 産業の競争力強化										
① 商工業振興策の実施										
地域ブランド定着推進事業	チームを構成する事業者数 ／21事業者(令和元年)→75事業者(令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	C	(一社)オアリパによるイベントの実施に向けて活動を行ってきた。砂川スイートロード協議会の地域ブランド部会として(一社)オアリパが担当しており、今後は(一社)オアリパと連携を継続し、商品開発など各種事業の実施により地域ブランドの定着を推進する。
		実績値	40	47	50	46	46	—		
	地域ブランドの商品数 ／22品(令和元年)→50品(令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	C	(一社)オアリパとの連携により、市内外でのイベントに出展した。新たな商品開発はなかったものの今後も事業者同士の連携を促し、商品開発に取り組みたい。
		実績値	29	29	31	31	31	—		
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件(令和元年)→4件(令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	C	ワンストップ相談窓口などの創業支援事業及び関係団体の連携により、2件の創業が実現した。また、商工会議所による創業セミナーが開催され、延27人(実7人)が参加した。今後とも関係団体と連携して情報発信等を行い、創業希望者を支援する。
		実績値	5	6	2	3	2	—		
② 農業振興策の実施										
農業6次産業化支援事業	連携取組数 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが実績はなかった。今後も6次産業化に向けた取り組みを推進するとともに、各種支援制度について情報提供などを行う。
		実績値	0	0	0	0	0	—		

小計(事業数:8、KPI数:7)

KPIの達成度／達成度A:3個 達成度B:0個 達成度C:4個 達成度D:0個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標 1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	—	総合評価： 実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能であるが、数値の公表日が令和9年(2027年3月)のため、令和9年度砂川市総合戦略推進委員会で報告予定。
			実績値	—	—	—	—	—	—		

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
(1) 人材育成・雇用対策											
① 地域人材の就労支援											
豊かな労働環境の充実支援事業		砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7% (令和元年)→40.0% (令和7年)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	A	総合評価： 砂川高校からの市内企業への就職者数は、年度により上下があるものの増加傾向にあることから、一定程度の効果があると考ええる。引き続き同様の取組を継続していく。
			実績値	36.6	25.0	24.0	40.0	48.5	—		
② 企業立地等の促進による就労の拡大											
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)		施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人 (令和元年)→15人 (5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	A	総合評価： 助成対象となる施設の新設等申請があり、市内居住の新規雇用についても一定の成果があった。今後も、従業員家賃支援事業と合わせ事業を継続し、強化を図っていく。
			実績値	0	0	0	18	0	18		
③ 医療・介護従事者等の確保・育成											
介護人材育成支援事業		研修終了者数 ／1人 (令和元年)→35人 (5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	C	総合評価： 深刻な介護人材不足となっており、目標値を下回っているが、当該事業が人材確保と介護技術水準の維持・向上に寄与している。引き続き、介護人材の安定確保のため制度活用の推進に努める。
			実績値	7	6	5	0	3	21		
④ 農業の担い手の確保・育成											
農作業受託組織等育成支援事業		農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価： 随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。農作業を受託している団体等の機械導入費用については、国の補助事業などを活用して支援を行う。
			実績値	0	0	0	0	0	—		
新規就農者支援事業		新規就農者数 ／3人 (第1期6年間)→4人 (5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	A	総合評価： 指標である新規就農者数においては、目標値を上回ることができた。当該事業については、新規就農者の確保及び定着に有効であると考ええるため、引き続き継続していく。
			実績値	2	0	1	1	1	5		
(2) 産業の競争力強化											
① 商工業振興策の実施											
地域ブランド定着推進事業		チームを構成する事業者数 ／21事業者 (令和元年)→75事業者 (令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	C	総合評価： 地域ブランドの認知度向上や商品開発、販路拡大に向けた取組が求められているため、(一社)オアリパとの連携を継続しながら、地域おこし協力隊およびスイートロード協議会における地域ブランド部会を中心に事業者同士の連携強化を図り、地域資源を活かした商品開発を進めていく必要がある。
			実績値	40	47	50	46	46	—		
		地域ブランドの商品数 ／22品 (令和元年)→50品 (令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	C	総合評価： 新たな商品開発については、物価高騰等の影響により、事業者が事業継続への対応を優先したことから、新商品開発に取り組む余力が十分になく、計画どおりの取組を進めることができなかった。今後は、新商品開発や事業者への販路開拓、伴走支援を行うことで、地域ブランド力の向上、収益確保、さらには地域経済の活性化に繋げていく必要がある。
			実績値	29	29	31	31	31	—		
創業支援事業		創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件 (令和元年)→4件 (令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	C	総合評価： 創業支援等事業計画に基づく創業セミナーへの参加などを契機として、創業希望者に対し、関係機関と連携しながら継続的に支援できる体制も徐々に整いつつあり、安定的な創業者の創出に繋がっている。一方で創業後の事業継続や販路拡大に課題を抱える事業者も多くあるため北海道よろず支援拠点等を活用した創業後の支援体制を進めていく。
			実績値	5	6	2	3	2	—		
② 農業振興策の実施											
農業6次産業化支援事業		連携取組数 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価： 現在、6次産業化に向けた取組に関する相談はない状況。引き続き、ニーズの把握と各種支援制度の情報提供を行う。
			実績値	0	0	0	0	0	—		

小計(事業数:8、KPI数:7)

KPIの達成度／達成度A:3個 達成度B:0個 達成度C:4個 達成度D:0個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値に対する所見
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	B	物価高や宿泊費の高騰により、日本人観光客の旅行控が全国的な傾向の背景下、7月～11月の期間に当市でヒグマ注意報がなされたことで、観光客の旅行計画に影響を与え、目標値を下回ったものとする。 今後は引き続き、情報発信の時期や内容が需要喚起に効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
			実績値	902.9	1,168.5	1477.4	1476.3	1428.8	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大										
① 移住定住の促進										
移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組(令和元年)→55組(5年間)	目標値	11	11	11	11	11	55	C	令和7年度のお試し暮らしの利用は、利用者が11組22人と昨年度(9組20人)より増加し、目標値を達成できた。短期利用者が多かったことから、多くの方の利用を受け入れられたことが目標値を達成できた主な原因と考えられる。 令和7年度においても東京都で開催された移住相談会への参加や、YouTubeを活用した情報発信を行ったほか、Xやnoteといった新たな情報媒体の活用を開始し、情報発信の強化を図った。
		実績値	2	6	13	9	11	41		
市内企業就労者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件(令和元年)→10件(各年度)	目標値	10	10	10	10	10	—	A	目標値に対し、1件の増であり、概ね見込みどおりの実績であった。 今後においても、情報提供の充実を行い、利用促進を図る。
		実績値	9	9	11	8	11	—		
UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件(令和2年)→1件(各年度)	目標値	—	1	1	1	1	—	D	該当企業に勤務等する実績がなく、件数は0件となっている。 今後も企業訪問等で、市内企業に対するマッチングサイト登録など事業周知に努め、実施していく。
		実績値	—	0	0	0	0	—		
	マッチングサイト求人掲載数 ／一社(令和2年)→5社(各年度)	目標値	—	5	5	5	5	—	A	1件(東洋建設工機)の新規登録があったが、今後も事業周知に努め、掲載数の増加に努める。
		実績値	—	0	1	4	5	—		
② 観光振興の推進										
観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人(令和元年)→1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	B	物価高や宿泊費の高騰により、日本人観光客の旅行控えが全国的な傾向の背景下、7月～11月の期間に当市でヒグマ注意報がなされたことで、観光客の旅行計画に影響を与え、目標値を下回ったものとする。 今後は引き続き、情報発信の時期や内容が需要喚起に効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	902.9	1,168.5	1477.4	1476.3	1428.8	—		
	砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	目標値	132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	B	令和7年度はイベント告知、店舗情報のHP更新を例年以上に行ったものの、結果的に目標値を下回る結果となった。 一方、同協会では旅行動機付けの興味を喚起するSNS投稿の強化を進めており、R6年度投稿数26からR7年度は90へ、フォロワー数も12月から3月末まで200以上大幅に伸ばしており、HP閲覧数減少の一部は閲覧媒体が代替されたとも考えられる。今後も、消費者の情報収集方法の変化に対応しながら、長期保存に優れた公式情報はホームページ、即時性・ビジュアル重視の旅行喚起をSNSで区別する等、情報発信が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
		実績値	132.6	157.7	161.2	140.2	118.9	—		
ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件(令和元年)→120件(各年度)	目標値	120	120	120	120	120	—	A	前年に比べ寄附者が減ったものの目標値を上回った。今後は、返礼品を充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
		実績値	231	175	426	565	341	—		
③ まちなかのにぎわい創出										
駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日(令和元年)→327人/日(令和7年)	目標値	—	—	—	330	327	—	A	本事業により、エリア価値が向上し、歩行者増に繋がったものとする。 今後とも基本コンセプトである居心地の良い居場所づくりを進めるとともに、持続的な賑わい創出に繋がるような取組(キッチンカー誘致、小規模イベントの定期実施支援)を進めたい。
		実績値	—	—	—	—	380	—		
(2) 高等学校の活性化										
① 地元学校への進学促進										
砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口(令和元年)→3間口(令和7年)	目標値	3	3	3	3	3	—	C	令和7年度も2間口であり、目標値を達成することはできなかった。入学者数は前年度(50人)より微増し、51人となった。今後も充実した支援内容の検討と、砂川高校の特色を広く周知するための方策について、高校等と連携を図っていく。
		実績値	3	2	2	2	2	—		

小計(事業数:7、KPI数:9)

KPIの達成度／達成度A:4個 達成度B:2個 達成度C:2個 達成度D:1個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	B	総合評価： コロナ禍や物価高騰により、日本人観光客の旅行計画に影響を与え、5年連続で目標値を下回ったものとする。 地域の魅力を高め、ひとの流れをつくるため、今後は引き続き、情報発信の時期や内容が需要喚起に効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
			実績値	902.9	1,168.5	1477.4	1476.3	1428.8	—		

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価	
(1)	(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大											
	① 移住定住の促進											
	移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組(令和元年)→55組(5年間)	目標値	11	11	11	11	11	55	C	総合評価: 計画期間の前半は新型コロナウイルス感染症の影響を受けキャンセルが相次いだことから、目標を達成することができなかったが、SNSによる情報発信を強化したことにより、多くの方に砂川市の情報を届けることができています。今後も、移住体験事業と情報発信を軸に移住定住を希望する方のサポートとなるよう事業を進めていく。	
			実績値	2	6	13	9	11	41			
	市内企業就労者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件(令和元年)→10件(各年度)	目標値	10	10	10	10	10	—	A	総合評価: 概ね目標値通りの交付実績となった。今後においても、移住定住を促進するため、情報発信を積極的に行い補助金の利用促進につなげていく。	
			実績値	9	9	11	8	11	—			
	UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件(令和2年)→1件(各年度)	目標値	—	1	1	1	1	—	D	総合評価: 東京圏での採用活動を実施している市内企業自体が少ないのが現状である。東京圏からの転入者に対する門戸を広げるためにも、引き続き市内企業に対するPRを実施し申請促進を進める。	
			実績値	—	0	0	0	0	—			
		マッチングサイト求人掲載数 ／一社(令和2年)→5社(各年度)	目標値	—	5	5	5	5	—	A	総合評価: マッチングサイト掲載企業数は目標に達したものの、積極的に東京圏で採用活動を実施している企業は少ない。引き続き市内企業に対するPRを実施し、掲載企業数増加に努める。	
			実績値	—	0	1	4	5	—			
	② 観光振興の推進											
		観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人(令和元年)→1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	B	総合評価: コロナ禍や物価高騰により、日本人観光客の旅行計画に影響を与え、5年連続で目標値を下回ったものとする。 地域の魅力を高め、ひとの流れをつくるため、今後は引き続き、情報発信の時期や内容が需要喚起に効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
				実績値	902.9	1,168.5	1477.4	1476.3	1428.8	—		
			砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	目標値	132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	B	総合評価: コロナ禍を通してデジタル化が進展し、旅行に係る消費者の情報収集方法の変容があり、令和5年度をピークにホームページアクセス数が減少したものとする。一方、SNSフォロワー数は増加傾向であることから、閲覧媒体が代替されたとも考えられ、今後も、消費者の情報収集方法の変化に対応しながら、長期保存に優れた公式情報はホームページ、即時性・ビジュアル重視の旅行喚起をSNSで区別する等、情報発信が効果的になるよう、各観光関連団体や事業者と連携を図る。
				実績値	132.6	157.7	161.2	140.2	118.9	—		
		ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件(令和元年)→120件(各年度)	目標値	120	120	120	120	120	—	A	総合評価: ふるさと応援寄附金の寄附者が増えたことで、目標値を上回り安定的に推移している。引き続き返礼品を充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
				実績値	231	175	426	565	341	—		
	③ まちなかのにぎわい創出											
		駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日(令和元年)→327人/日(令和7年)	目標値	—	—	—	330	327	—	A	総合評価: 本事業により、エリア価値が向上し、歩行者増に繋がったものとする。 今後とも基本コンセプトである居心地の良い居場所づくりを進めるとともに、持続的な賑わい創出に繋がるような取組(キッチンカー誘致、小規模イベントの定期実施支援)を進めたい。
実績値				—	—	—	—	380	—			
(2)	高等学校の活性化											
	① 地元学校への進学促進											
	砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口(令和元年)→3間口(令和7年)	目標値	3	3	3	3	3	—	C	総合評価: 入学間口数は令和4年度から2間口となったが、入学者数を増加させるため、高校への支援を拡充・拡大してきたところである。 今後とも充実した支援を行うとともに、砂川高校の魅力を広く周知することで、入学者数の増加に繋げていく。	
実績値			3	2	2	2	2	—				

小計(事業数:7、KPI数:9)

KPIの達成度／達成度A:4個 達成度B:2個 達成度C:2個 達成度D:1個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値に対する所見
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	C	令和7年度の出生数は57人、合計特殊出生率は0.97となった。子育て施策は、各課の取組みで充実してきているが、ライフスタイルの多様化や経済状況等の要因が関連する。妊娠を望む方が健康で安心した出産、育児ができる環境を推進していく。
			実績値	72	83	53	71	57	—		

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援											
① 婚活支援の推進											
すながわ出会い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値		30	30	30	30	30	—	D	令和7年度は、平成29年度以来8年ぶりに新砂川農協青年部によるイベントが開催されたが、1イベントのみの開催となったことから、参加者数は目標値に到達しなかった。令和8年度は、各団体とイベント開催に向けた交渉を引き続き行い、イベント開催の際にはPR等の面で協力・連携していく。
		実績値		0	0	0	24	14	—		
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／－組(令和元年)→5組(各年度)	目標値		5	5	5	5	5	—	C	対象となる可能性のある新婚世帯には漏れなく周知を行っているが、実績値は目標値の5組を下回っている。今後も制度の周知を図るとともに、対象者の拡大等、国の制度改正状況を注視していく。
		実績値		5	3	10	8	3	—		
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援											
① 妊娠・出産への支援の実施											
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	目標値は達成した。今年度は実4人、延5人に対し助成している。概ね経済的負担の軽減、治療の後押しに繋がっている。しかしながら、審査のため必要な書類ではあるが、書類の煩雑さは否めないところではある。
		実績値		100.0	100.0	0.0	83.3	100.0	—		
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値		670	670	670	670	670	—	C	妊娠届出66名、転入2名。全妊婦が必要な時期に健診を受診している。里帰り先市外医療機関とも市独自の助成主旨を理解いただき、委託契約締結し、経済的負担の軽減を図ることが出来ている。今後も継続していく。
		実績値		577	528	501	438	430	—		
子育て世代への切れ目ない相談支援事業	訪問指導実施率 ／－(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	実績の内訳は、初妊婦訪問は転出や流産等の理由で対象時期を終了した者を除く全ての妊婦に訪問ができている。乳児全戸訪問については、出生直後に転出した児がいるが、その他の児は訪問できており、実施率については概ね100%である。
		実績値		96.9	95.6	96.7	100.0	100.0	—		
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	C	登録者21名の内、1名の利用があった。妊娠届出や中期面談にて周知をしているが、登録率の目標に達していないことは、家族等の協力があると推測される。引き続き、必要な妊婦へ事業が認知され、出産時の安心に繋がるよう周知を継続していく。
		実績値		46.1	52.6	48.3	50.7	36.8	—		
② 子ども・子育て支援の充実											
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	利用登録者103名、実利用者17名、延べ利用者数127名。 利用登録者と実利用者は前年比で減であるが、延べ利用者が前年比で増となっている。アンケートにおいては「保護者が仕事を休めた」等により施設を利用しなかった回答が見られたが、今年度より予約や空き状況の確認を利用予約フォームを開設して可能としたことや一部の利用者が多数利用するケースが多く利用増につながったと考える。 引き続き、保護者のセーフティーネットとして施設の理解促進と安全・安心な環境を整備していく。
		実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—		
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値		150	150	150	150	150	—	D	今年度においても開催中止はなかったが、前年度比で参加親子組数が減となっている。保育所内での感染症等の発生状況を情報提供した上で、予約受付を行ったところであることや、令和7年度はクマの目撃情報が多かったことから参加を控えた世帯があった。 保育所が持つ専門的機能を地域の保護者へ積極的に提供していく必要があり、今後利用者が増加するように取り組む。
		実績値		24	37	33	44	33	—		
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	延べ利用者602名。「私的理由」(主にリフレッシュ)での利用が8割、「非定型保育」での利用が1割、1割が「緊急保育」による利用である。 人口減少等により延べ利用者数が減少傾向であるが、定期利用する保護者が多く、今後も保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
		実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—		
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値		0	0	0	0	0	—	A	今年度も待機児童を出すことなく運営できた。 安定的な運営のため、放課後児童支援員認定資格を持った指導員を一人でも多く確保する必要があることから、引き続き任用している指導員の中で研修受講要件を満たす方に対し、研修受講を促していく。 令和8年度には砂川学童保育所としてこれまでの4学童が統合され、空知太学童保育所は公営となることから開設に向けて準備を進めてきたところであり、今後円滑な運営ができるよう努めていく。
		実績値		0	0	0	0	0	—		
保育・教育施設ICTシステム導入事業	利用者登録率(保育所) ／－(令和4年)→100%(令和7年)	目標値		—	—	100.0	100.0	100.0	—	A	コドモンアプリの保護者利用登録率は100%であり、児童の欠席連絡、登降園管理、保育所からのお知らせ等で、コドモンアプリを活用して保護者と連絡を行っている。 引き続き保護者の利便性の向上を第一に職員の業務効率化を含め取り組んでいく。
		実績値		—	—	100.0	100.0	100.0	—		
	利用者登録率(幼稚園) ／－(令和5年)→100%(令和7年)	目標値		—	—	—	100.0	100.0	—	A	アプリ登録率は100%であり、目標値を達成することができた。今年度もコドモンを利用することで、幼稚園と保護者間の情報連携が図られた。また、小・中学校においても同一のアプリを使用していることから、保護者にとって利便性が高いものとなっている。
		実績値		—	—	—	100.0	100.0	—		
	利用者登録率(小中学校) ／－(令和4年)→100%(令和7年)	目標値		0	0	100.0	100.0	100.0	—	B	今年度についても目標値を概ね達成しており、コドモンアプリを通じた学校からの情報発信のほか、スクールバスの乗降状況や位置情報の把握により、学校と保護者間の情報連携が図られた。今後も利便性の向上を図るため取り組みを進める。
		実績値		0	0	99.7	99.6	99.8	—		

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	C	総合評価： 合計特殊出生率はゆるやかに減少傾向であるが、転入される子育て世帯の方は市の子育て支援施策の充実を評価して選択されてきたという声も聞こえている。全国的な少子化の傾向は当市のみで解決は出来ないが、結婚、出産を希望する方が選択しやすいよう、事業を継続していく。
			実績値	72	83	53	71	57	—		

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
(1) 若い世代の結婚支援											
① 婚活支援の推進											
すながわ出会い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値		30	30	30	30	30	—	D	総合評価: 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度から令和5年度においてはイベントの開催に至らなかったが、令和6年度からはイベントが再開され、各団体のPRの成果によって参加者も一定程度集まり開催することができている。近年はイベントを開催する団体が限られていることから、新たな団体による開催の可能性について調査を進めるとともに、イベントの内容や参加者の募集方法等について、団体と都度意見交換をしながら、連携・協力をしていく必要がある。
		実績値		0	0	0	24	14	—		
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／一組(令和元年)→5組(各年度)	目標値		5	5	5	5	5	—	C	総合評価: 対象となる可能性のある新婚世帯には漏れなく周知を行っているが、目標値の達成状況については、年度によってバラつきがある。対象となる可能性がありながら申請に至らない要因について、分析をするとともに、周知方法を再度検討する必要がある。
		実績値		5	3	10	8	3	—		
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援											
① 妊娠・出産への支援の実施											
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価: 助成事業としては必要な方へ手厚い制度であり、継続が必要と考えているが、先進不妊治療の助成とあわせ、よりわかりよい周知方法、体制を再考する必要はあると考えている。
		実績値		100.0	100.0	0.0	83.3	100.0	—		
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値		670	670	670	670	670	—	C	総合評価: 市独自の超音波検査等の助成制度については妊婦の経済的負担軽減となっており、継続していく方向性である。現在、国が全国一律の妊婦健診費用の標準額を設定する方向性が示されており、注視していく。
		実績値		577	528	501	438	430	—		
子育て世代への切れ目ない相談支援事業	訪問指導実施率 ／一(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価: 初妊婦や乳児を抱える世帯への訪問指導実施率は概ね100%で推移しており、妊娠期からの継続した乳幼児健診等の相談・学習の機会を通して、切れ目のない支援・相談体制を維持している。今後も継続していく。
		実績値		96.9	95.6	96.7	100.0	100.0	—		
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	C	総合評価: 事業の周知を徹底しているが登録率が伸びていないことは、制度を利用しなくとも家族等の協力が得られているとも推測できるが、引続き出産時の安心に繋がるよう妊婦へ事業周知を継続していく。
		実績値		46.1	52.6	48.3	50.7	36.8	—		
② 子ども・子育て支援の充実											
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価: 当事業は保護者の勤務等の理由から病気の児童を家庭で保育できない場合のセーフティネットとして必要であり、必然的に利用する保護者の満足度は高い。保護者のニーズには応えることができていることから、引き続き施設の理解促進と安全・安心な環境を整備していく。
		実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—		
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値		150	150	150	150	150	—	D	総合評価: 新型コロナウイルスをはじめとした感染症等が流行したことで全体的に目標値を達成することができなかった。また、クマの発生による影響も利用控えにつながっていると考える。しかしながら、地域に開かれた子育て支援として専門的機能を積極的に提供していく必要があり、さらなる利用にあたっては周知をさらに工夫する必要がある。
		実績値		24	37	33	44	33	—		
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価: 新型コロナウイルス感染症等の影響により、利用を控えた世帯があったため、利用が少ない年度があった。 利用の傾向として私的理由(主にリフレッシュ)での利用が全体の約8割を占めており、保護者ニーズは高いといえる。今後も保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
		実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—		
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値		0	0	0	0	0	—	A	総合評価: これまで待機児童を出すことなく運営ができており、保護者のニーズを満たしていると考える。利用児童が年々増加していることから安定的な運営のため放課後児童支援員認定資格を持った指導員を一人でも多く確保する必要がある。令和8年度より砂川学童保育所としてこれまでの4学童が統合され、空知太学童保育所は公営となることから開設に向けて準備を進めてきたところであり、今後円滑な運営ができるよう努めていく。
		実績値		0	0	0	0	0	—		
保育・教育施設ICTシステム導入事業	利用者登録率(保育所) ／一(令和4年)→100%(令和7年)	目標値		—	—	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価: 当事業を実施したことにより、児童の欠席連絡、登降園管理など保護者との連絡共有が円滑に図られ、職員の業務負担軽減と保護者の利便性が大幅に向上した。引き続き保護者の利便性の向上を第一に職員の業務効率化を含め取り組みを進める。
		実績値		—	—	100.0	100.0	100.0	—		
	利用者登録率(幼稚園) ／一(令和5年)→100%(令和7年)	目標値		—	—	—	100.0	100.0	—	A	総合評価: 幼稚園にコードモンを導入したことにより、幼稚園と保護者間の情報連携が図られたことから、成果があったものと考ええる。また、小・中学校においても同一のアプリを使用していることから、保護者にとって利便性が高いものとなっている。
		実績値		—	—	—	100.0	100.0	—		
	利用者登録率(小中学校) ／一(令和4年)→100%(令和7年)	目標値		0	0	100.0	100.0	100.0	—	B	総合評価: アプリを通じた学校からの情報発信のほか、スクールバスの乗降状況や位置情報の把握により、学校と保護者間の情報連携が図られたことから、成果があったものと考ええる。今後も利便性の向上を図るため取り組みを進める。
		実績値		0	0	99.7	99.6	99.8	—		

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標（KPI）	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
	③ 子育て世帯の経済的負担の軽減										
	ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7%（令和元年）→60%（令和7年）	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	B	利用世帯数は前年と比較し、減少しており、6月～7月にかけて、こどもの国付近で熊が出没したことによる利用控え等が要因として推察される。今後においても引き続き事業の周知を図っていく。
			実績値	32.7	49.7	50.9	56.1	48.1	—		
	子ども医療費無料化事業	KPIの設定が困難なため設定しない ※令和4年度までは「対象者1人当たりの助成額（単位：円）」をKPIに設定していたが、医療費の無料化に伴いKPIを精査し、助成額で事業の有効性を図ることは困難と判断したことから、令和5年度からはKPIを設定していない。	目標値	8,400	8,400	—	—	—	—	—	対象者数の減少により、前年に比べ医療費が低く抑えられたと想定される。子育て世帯の負担軽減となるよう、必要な時に医療を受けやすい環境の整備を継続していく。
			実績値	7,493	7,758	—	—	—	—		
	インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9%（令和元年）→60%（令和7年）	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	C	昨年同様、新型コロナウイルスワクチンの接種時期に併せ、10月～1月を接種期間とし、対象者が受けやすくなるよう接種期間を確保しているが、昨年並みの接種率にとどまった。今後も希望する人が接種できるよう周知、負担額の助成を継続していく。
			実績値	39.9	45.9	40.6	40.3	40.3	—		
	学校給食費無償化事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	本年度、学校給食費の値上げを行ったところであるが、給食費の全額無償化により、子育て世帯の経済的負担を軽減することができた。 令和8年度においても継続して事業を実施する。
			実績値	—	—	—	—	—	—		
	保育所給食費無償化事業	保護者満足度 ／—（令和5年）→80%（令和7年）	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	A	保育料軽減対象の実人数44人、副食費軽減対象の実人数111人であり、対象保護者へのアンケート調査で99.3%の保護者が「満足」「やや満足」と回答があった。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。
			実績値	—	—	—	95.7	99.3	—		
	幼稚園等副食費助成事業	保護者満足度 ／—（令和5年）→80%（令和7年）	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	A	副食費助成対象の実人数68人であり、対象保護者へのアンケート調査で86.8%の保護者が「満足」「やや満足」と回答があった。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。
			実績値	—	—	—	77.8	86.8	—		
④ 小中学校の学習環境の充実											
放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0%（令和元年）→87.5%（令和7年）	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	B	結果として目標値を下回った。国語は全国（82.8）・全道（83.7）を大きく上回ったものの、算数は下回っている。学校における授業改善の取組と本事業による効果的な学習支援を連動させることにより、児童の授業理解度の向上を図る。	
		実績値	87.8	83.0	85.8	90.1	82.3	—			
中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／—（令和元年）→50%（令和7年）	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	A	実施5年目となった令和7年度では、141名の受験があり121名が合格した。合格率は85.8%と、目標値と昨年度の実績値を上回る結果となり、一定の効果があったものとする。受験者数も増加傾向にあり、英語学習の意欲向上に寄与していることが推測されることから、今後も英語検定を受験しやすい環境を整えることにより、継続した学習につなげていくことが重要だと考える。	
		実績値	75.0	69.3	65.2	72.4	85.8	—			
小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	砂川市立小中学校統合準備委員会を4回開催し、砂川学園スクールバスの乗車基準や運行経路、運行内容を決めた。また、開校に向けた教職員向けの説明会や保護者説明会、新入学児童生徒及び保護者向けの説明会も開催し、円滑な開校に向けた取組を行った。加えて、閉校する6校合同の校旗返納式を実施するとともに、小中学校が実施する閉校記念事業に対し交付金を交付した。	
		実績値	—	—	—	—	—	—			

小計(事業数:20、KPI数:19)

KPIの達成度／達成度A:10個 達成度B:3個 達成度C:4個 達成度D:2個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価	
	③ 子育て世帯の経済的負担の軽減											
	ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7% (令和元年)→60% (令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	B	総合評価： 新型コロナウイルス感染症や熊の出没等により利用世帯数に増減はあるものの、一定の世帯数が利用しており、親子で過ごす時間の創出の一助となっているものとする。	
		実績値	32.7	49.7	50.9	56.1	48.1	—				
	子ども医療費無料化事業	KPIの設定が困難なため設定しない ※令和4年度までは「対象者1人当たりの助成額(単位:円)」をKPIに設定していたが、医療費の無料化に伴いKPIを精査し、助成額で事業の有効性を図ることは困難と判断したことから、令和5年度からはKPIを設定していない。	目標値	8,400	8,400	—	—	—	—	—	総合評価： 令和5・6年に実施した医療費無償化の対象者拡大により、子育て世帯への負担軽減が図られたと考えている。 引き続き、子育て世帯が必要な時に医療を受けることができるよう、事業を継続していく。	
		実績値	7,493	7,758	—	—	—	—				
	インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9% (令和元年)→60% (令和7年)	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	C	総合評価： 接種期間やワクチンの種類を拡大(令和6年度経鼻ワクチン)することで、対象者が受けやすくなるよう体制を整えた。自己負担の助成は、保護者の経済的負担軽減に繋がるよう維持している。今後も希望する人が接種できるよう周知、負担額の助成を継続していく。	
		実績値	39.9	45.9	40.6	40.3	40.3	—				
	学校給食費無償化事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価： 物価の高騰などにより、令和7年度から給食費の値上げを行ったところであるが、給食費の無償化を継続していることで、子育て世代の経済的負担を軽減することができた。 市内の児童・生徒全員(他制度活用者を除く)を対象とした取り組みであり、子育て支援対策として効果的な事業と判断される。	
		実績値	—	—	—	—	—	—				
	保育所給食費無償化事業	保護者満足度 ／— (令和5年)→80% (令和7年)	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	A	総合評価： 保護者満足度が「満足」「やや満足」と回答している保護者が90%を超えており、ニーズが高い事業であるといえる。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。	
		実績値	—	—	—	95.7	99.3	—				
	幼稚園等副食費助成事業	保護者満足度 ／— (令和5年)→80% (令和7年)	目標値	—	—	—	80.0	80.0	—	A	総合評価： 保護者満足度が「満足」「やや満足」と回答している保護者が80%を超えており、ニーズが高い事業であるといえる。 今後においても、保護者の経済的負担軽減を図る本事業を継続していく。	
		実績値	—	—	—	77.8	86.8	—				
	④ 小中学校の学習環境の充実											
	放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0% (令和元年)→87.5% (令和7年)	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	B	総合評価： 国語は事業開始以降、毎年全道及び全国平均を上回る結果となった。それに対して算数は年によってばらつきのある結果となっている。学習の成果等に関しては本事業のみににおいて図られるものではなく、学校での授業が大きな要因を占めるが、本事業によって継続して学習意欲と理解度向上の補助的な役割を担うことで、学力の基礎を定着させることが重要である。	
			実績値	87.8	83.0	85.8	90.1	82.3	—			
	中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／— (令和元年)→50% (令和7年)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	A	総合評価： 事業実施の5年間の中で受験者数や合格率に増減があったが、最終年度には受験者数、合格者数ともに最高値となり、事業の実施効果が表れたものと考えられる。例年、児童・生徒数が減少している中でも、受験者数が増加していることから、英語検定を受験することに対する意識が向上していることが伺える。英語検定の合格を目標に学習する環境を浸透させるため、今後も英語検定への支援を実施することで、学習意欲の向上と継続的な学習機会につなげていくことが重要である。	
			実績値	75.0	69.3	65.2	72.4	85.8	—			
	小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価： 砂川市立小中学校統合準備委員会及び砂川市小中一貫教育推進委員会を中心に小中学校の統合、砂川学園の開校に向けた協議を実施したことで、令和5年度の中学校の統合や砂川市初のスクールバスの運行、令和8年度の砂川学園の円滑な開校を迎えることができた。	
			実績値	—	—	—	—	—	—			

小計(事業数:20、KPI数:19)

KPIの達成度／達成度A:10個 達成度B:3個 達成度C:4個 達成度D:2個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値に対する所見
人口増減率	△7.04％（平成27年～令和2年）	△5.13％（令和2年～令和7年）	目標値	—	—	—	—	△5.13％	—	C	基準値と令和7年度の実績値(R2～R7)を比較すると、人口減少が進んでいる傾向がみられ目標値に達成することができなかった。当初砂川市人口ビジョンをもとにした人口推計により令和7年度時点の人口を算出し、目標値を設定していたが、推計よりも人口の減少が著しいことが要因と考えられる。社会増減については令和7年度は△2人であり、社会減の回復が見られる。今後も転出入者の傾向について調査を進め、対策につなげる必要がある。
			実績値	△7.77％	△8.38％	△9.11％	△9.39％	△9.11％	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標（KPI）	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保										
① 地域包括ケアシステムの充実										
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 （情報共有ネットワーク事業）	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件（令和元年）→22,000件（令和7年）	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	A	患者の医療情報の参照件数は目標値を上回り安定的に推移している。在宅医療と介護をつなぐ地域包括ケアが今後も重要であることから、引き続きシステムを活用し情報連携の充実を図る。
		実績値	30,378	29,921	29,215	27,852	26,297	—		
② 健康維持・増進の推進										
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7％（令和元年）→60％（令和7年）	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	B	R6年度特定健診受診率は55.8％となり前年度と同率であった。R7年度受診率は4月末現在で46.8％である。引き続き受診率向上に向けて未受診者対策を継続していく。後期高齢者健診は集団健診の日数をR6年より1日増やし、昨年よりも受診数を増やす事ができた。がん検診においては、受診数、受診率ともに昨年度より減少している。受診率では胃がん・肺がん・大腸がん検診5.8～7.0％、子宮頸がん・乳がん検診12.3～19.7％と国の目標受診率60％と差が大きいため、引き続き受診率向上に向けた取り組みが必要である。乳幼児健診はほぼ100％を維持している。
		実績値	48.3	52.0	55.8	55.8	暫定値	—		
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人（令和元年）→1,250人（令和7年）	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	C	ポイント対象事業の各種健（検）診講演会等は計画通りに実施出来た。また、アプリの導入や事業実施期間の見直しにより利便性が向上し、申請数の増加につながった。スマートフォンに不慣れな方への説明会を行うことで、参加しやすい環境づくりを進めた。しかし、若年層の参加拡大には至らず、今後は若年層の参加増加につながるような対象事業の拡大や更なる周知が必要である。
		実績値	905	893	877	903	920	—		
若年者生活習慣病予防健診・産後生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—（令和元年）→100％（令和7年）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	小学生38名（受診率38.0％）、中学生20名（受診率22.0％）、成人1名、1歳6か月児の母5名に実施。今年度より、小学5年生、中学2年生の健診費用の無償化と血液型検査も併せて実施したことで、昨年度よりも受診数、受診率共に増加した。中学生以下については、保護者と本人に面接し（本人が来所できない場合は保護者のみ）、健診結果について伝え、精密検査が必要な児には精検連絡票を用いて医療機関につなげた。また、結果を元に両親や祖母の既往歴や現病歴なども考慮しながら、保健指導や栄養指導を実施した。1歳6か月児の母の健診では、妊婦健診以降、自身の身体状況を確認できる機会となっていた。
		実績値	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	—		
いきいき元気推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—（令和元年）→480人（各年度）	目標値	480	480	480	480	480	—	A	市民サービスの向上といった意識のもと、各事業とも予定どおり滞りなく実施することができた。実績値は高い水準のまま横ばいとなった。引き続き、協力隊の持つ専門知識も活用しながら、事業を実施していく考えである。
		実績値	143	612	986	1,198	1,216	—		
③ 高齢者等の在宅生活の支援										
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数（3年で一巡） ／30団体（令和元年）→30団体（各年度）	目標値	30	30	30	30	30	—	A	昨年度同様、高齢者名簿情報提供事業で町内会役員が社協を訪れた際、地域包括支援センター職員と共に地域実情及び活動状況について聞き取りを実施。引き続き、情報提供事業の機会等を活用して情報交換を行っていく。
		実績値	0	39	24	32	33	—		
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体（令和元年）→15団体（5年間）	目標値	3	3	3	3	3	15	A	7年度より、町内会長を中心とした役員に対して市・包括と共同で町内会の課題やニーズ等聴き取りを33町内会に実施。今後の地域支援や高齢者の社会参加活動の仕組みづくりの提案に繋げていく。
		実績値	3	1	0	3	33	40		
④ 地域公共交通の確保・維持										
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	北海道新幹線札幌延伸工事や千歳市の次世代半導体製造拠点整備等の影響により、JR北海道の人員不足が恒常化しており、整備改善事業の協議は進展しない状況にある。また、令和12年度末の開業予定について、延伸工事が令和20年まで延期されると国土交通省より発表されたことから、早期実現がさらに厳しい状況にあるが、引き続き、北海道にも協力を仰ぎ、JR北海道と連携を図りながら、駅利便性向上の実現に向け、協議を進めていく。また、今年度は、市長と商工会議所副会頭がJR北海道を訪問し、役員に対してエレベーター設置等の要望を行った。
		実績値	—	—	—	—	—	—		
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人（令和元年）→8,431人（各年度）	目標値	8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	A	乗合タクシー登録者が増加したことや、周知を行ったことにより利用者が増加した。今後も市民の日常生活に必要な交通手段を確保することで、市民生活の利便性の向上を図る。
		実績値	8,583	9,304	10,762	11,794	14,709	—		
⑤ 災害対策の実施										
防災情報発信事業（災害対策事業）	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—（令和元年）→13％（令和7年）	目標値	8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	A	防災情報、悪天候が予想される場合の注意喚起情報等について情報発信した。今後もSNSの特性を生かした情報伝達を行い、新規登録者増加を目指す。
		実績値	15.6	19.5	23.1	25.7	32.4	—		
自主防災組織育成事業（災害対策事業）	自主防災組織数 ／13団体（令和元年）→15団体（令和7年）	目標値	14	14	15	15	15	—	A	新規設置あり。令和7年度に2件の自主防災組織が設置され目標値を達成することができた。今後も引き続き未設置の町内会へ働きかけを続ける。
		実績値	13	13	13	14	16	—		
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進										
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—（令和2年）→2,121件（令和7年）	目標値	—	264	1,272	1,483	2,121	—	A	サービス開始から3年が経過し、市民等への認知が広まり、また、マイナンバーカード保有枚数率の増加に伴い、目標値を上回る安定的なサービス運用が図られている。今後も引き続き窓口や市HP等での周知に努める。
		実績値	—	328	1,440	1,841	2,215	—		
	マイナンバーカード保有枚数率 ／27.4％（令和2年）→100％（令和7年）	目標値	—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	B	広報等の内容を工夫し、カードの作成意欲を高める情報発信、また、高齢者施設等への出張申請を行い、昨年度を上回る実績値となったが目標値の達成には至らなかった。今後は、在留カードとの一体化、振り仮名およびローマ字記載などの周知を行う予定。
		実績値	—	72.6	74.2	79.1	82.7	—		

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
人口増減率	△7.04％(平成27年～令和2年)	△5.13％(令和2年～令和7年)	目標値	—	—	—	—	△5.13％	—	C	総合評価： 令和3年度から令和6年度にかけては、人口減少率が増加傾向であるが、令和7年度は社会減の回復傾向により、減少率も回復している。目標を達成することはできなかったが、国においてこれまでの人口減少に歯止めをかけるという観点から人口減少を受け止めたくうえで日々の暮らしを持続可能なものにするという考え方であるので、それを踏まえた対策をする必要がある。
			実績値	△7.77％	△8.38％	△9.11％	△9.39％	△9.11％	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価
(1) 安心なくらしの確保										
① 地域包括ケアシステムの充実										
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件(令和元年)→22,000件(令和7年)	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	A	総合評価： 患者の医療情報の参照件数は目標値を上回り安定的に推移し、在宅医療・介護連携の推進に当該事業が寄与している。引き続きシステムを活用し情報連携の充実を図る。
		実績値	30,378	29,921	29,215	27,852	26,297	—		
② 健康維持・増進の推進										
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7％(令和元年)→60％(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	B	総合評価： 特定健診受診率は年々増加し、目標値に近づいてきている。 後期高齢者健診受診数は増えてきているが、受診率は国の平均よりも低い状況にあるため、健診受診の利便性を図り、未受診者対策を実施していく。がん検診の受診率は低い水準で推移している。疾病の早期発見・早期治療の必要性を伝え、受診率向上に向けた取り組みを強化していく。乳幼児健診の受診率は100％の水準を維持していく。
		実績値	48.3	52.0	55.8	55.8	暫定値	—		
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人(令和元年)→1,250人(令和7年)	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	C	総合評価： 対象事業の拡大やアプリの導入を進めることで申請数の増加につながった。参加者は高齢者の割合が高く、若年者の参加が低調であるため、若年者への周知・参加促進が課題である。
		実績値	905	893	877	903	920	—		
若年者生活習慣病予防健診・産後生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—(令和元年)→100％(令和7年)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	A	総合評価： 健診対象を小学5年生のほか、中学2年生、1歳6か月の母と拡大し幅広い世代へのアプローチを進めてきた。さらに健診の無償化や健診項目(血液型)を増やし、受診率の向上につなげることができた。今後も受診率の向上を目指すとともに学童期から継続的に自身の健康状態を把握することで、将来的な生活習慣病の予防へとつなげていきたい。
		実績値	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	—		
いきいき元気推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—(令和元年)→480人(各年度)	目標値	480	480	480	480	480	—	A	総合評価： 地域おこし協力隊によるトレーニングルームにおける利用者に寄り添った運動指導は、多くの利用者から評価の声が寄せられている。また、年を追うごとに出張・企画教室の実績(回数・人数)も残してきていることから、その地道な活動を高く評価することができる。
		実績値	143	612	986	1,198	1,216	—		
③ 高齢者等の在宅生活の支援										
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数(3年で一巡) ／30団体(令和元年)→30団体(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	A	総合評価： 高齢者名簿情報提供事業で町内会役員が社協を訪れた際に地域実情及び活動状況について聞き取りを実施し地域における高齢者の見守り体制の構築が図られている。引き続き、情報提供事業の機会等を活用して情報交換を行っていく。
		実績値	0	39	24	32	33	—		
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体(令和元年)→15団体(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	A	総合評価： 町内会を中心に高齢者のニーズ及び地域事情の把握に努めた結果、新規サロンが開設されるなど地域支援体制の充実が図られた。今後も町内会の課題やニーズ等聴き取りを実施し地域支援や高齢者の社会参加活動の仕組みづくりの提案に繋げていく。
		実績値	3	1	0	3	33	40		
④ 地域公共交通の確保・維持										
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価： バリアフリー化について数案、提案を行ったが、具体化の時期については未定である。引き続きJRと協議を実施しバリアフリー化に向けた最終案を絞り込み、早期実現を要望する。
		実績値	—	—	—	—	—	—		
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人(令和元年)→8,431人(各年度)	目標値	8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	A	総合評価： 利用者数が例年増加し続けていることから、市民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、今後も継続実施していく。
		実績値	8,583	9,304	10,762	11,794	14,709	—		
⑤ 災害対策の実施										
防災情報発信事業(災害対策事業)	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—(令和元年)→13％(令和7年)	目標値	8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	A	総合評価： 登録者数も年々増加しており、実績値も目標値を上回っている。今後もSNSの特性を生かした情報伝達を行い、新規登録者増加を目指す。
		実績値	15.6	19.5	23.1	25.7	32.4	—		
自主防災組織育成事業(災害対策事業)	自主防災組織数 ／13団体(令和元年)→15団体(令和7年)	目標値	14	14	15	15	15	—	A	総合評価： 町内会などへのPR活動が実を結び目標値を達成することができた。今後も町内会などへのPR活動を行い未設置の町内会へ働きかけを続ける。
		実績値	13	13	13	14	16	—		
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進										
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—(令和2年)→2,121件(令和7年)	目標値	—	264	1,272	1,483	2,121	—	A	総合評価： 令和4年度の事業開始以降、市民等の関心が高く、認知度も徐々に広まり、マイナンバーカード保有枚数率の増加に伴い、目標値を上回る安定的なサービス運用が図られている。 今後も引き続き周知に努め、件数の増加を図っていく。
		実績値	—	328	1,440	1,841	2,215	—		
	マイナンバーカード保有枚数率 ／27.4％(令和2年)→100％(令和7年)	目標値	—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	B	総合評価： 政府が掲げた目標値である100％には及ばなかったものの、カードの作成意欲を高める情報発信や出張申請等を行ったところ、80％を超える実績値とすることができた。 今後も引き続き周知等に努め、実績値の増加を図っていく。
		実績値	—	72.6	74.2	79.1	82.7	—		

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標（KPI）	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	令和7年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化											
	① 良質な住宅ストックの確保										
	ハートフル住まいる推進事業	補助金交付件数 ／216件（令和元年）→150件（各年度）	目標値	150	150	150	150	150	—	A	令和7年度に住宅購入や除却費用等に対する補助金額の見直しや拡充を行ったが、近年の物価高騰に伴う、工事価格の上昇により、例年と比べ、実績額、実績値が減少した。 4つの補助金事業として実施しているが、誰もが安全で安心して住み続けることができる住環境づくり、定住促進、まちなか居住に寄与しているものであり、今後においても、社会情勢や需要の変化など、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業を継続する。
			実績値	258	266	269	245	188	—		
	住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件（令和元年度）→87件（各年度）	目標値	87	87	87	87	87	—	A	目標値に対し2件の増で、概ね見込みどおりの実績であり、補助金制度のPR活動により、制度の浸透を図ることができたと考える。 今後も継続してPR活動を行い、空き家の利活用や移住定住の促進を図る。
			実績値	95	103	112	92	89	—		
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成											
	① 他の地方公共団体と連携した施策の実施										
	広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	各種事業や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られている。現行の第4次ふるさと市町村圏計画の計画期間が令和8年度末までであるため、令和7年度は広域圏のあり方や各事業の必要性について協議を行った。令和8年度においても今後の方向性の決定に向けて、協議を重ねていく。
			実績値	—	—	—	—	—	—		
	定住自立圏推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	令和7年度は、地元学生を対象とした合同企業説明会を開催し、140名の高校生・54社の企業が参加・出展し、地元企業を知る良い機会となった。前年度から開催時期を早めて実施しており、令和7年度においても参加者数は前年度より増加した。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信に継続して取り組むほか、他の連携事業についても他市町と連携・協力しながら実施する。
			実績値	—	—	—	—	—	—		
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保											
	① 市民が主体的に地域づくりに 参画することができる環境・仕組みづくり										

小計(事業数:16、KPI数:14)

KPIの達成度／達成度A:11個 達成度B:2個 達成度C:1個 達成度D:0個

合計(事業数:51、KPI数:49)

KPIの達成度／達成度A:28個 達成度B:7個 達成度C:11個 達成度D:3個

第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

施策名・事業名		重要業績評価指標 (KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の 合計	達成度	5年間の総合評価	
(2)	空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化											
	① 良質な住宅ストックの確保											
		ハートフル住まいる推進事業	補助金交付件数 ／216件(令和元年)→150件(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	A	総合評価: 令和5年度を境に実績額、実績値が減少しているが、各年度で目標値を大きく上回っているため、 今後においても、社会情勢や需要の変化など、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業の 継続が必要である。
				実績値	258	266	269	245	188	—		
		住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件(令和元年度)→87件(各年度)	目標値	87	87	87	87	87	—	A	総合評価: 各年度ともに目標値を上回り、補助金制度が広く周知されている結果と考える。 令和7年度より、支援策を拡充したことを踏まえ、より積極的なPRを行い、利用促進を目指す。
				実績値	95	103	112	92	89	—		
	(3) 広域連携による経済・生活圏の形成											
	① 他の地方公共団体と連携した施策の実施											
		広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価: これまで広域圏で実施している各種事業(なかそらち大収穫祭や図書館ネットワーク、職員研修 等)や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られているが、第4次ふるさと市 町村圏計画の計画期間が令和8年度末までであることから、現在広域圏のあり方や各事業の必要 性について協議を進めている。今後も中空知全体の課題解決に向け、広域圏でどのような連携 が必要かを改めて検討し、方向性を決定していく必要がある。
実績値				—	—	—	—	—	—			
定住自立圏推進事業		KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	—	総合評価: 中空知定住自立圏の主な自主事業として、地元学生を対象とした合同企業説明会を毎年実施し ているが、コロナ禍においてもオンラインを活用して実施するなど、より多くの学生に地元企業を知る 機会を提供できるよう各市町で連携・協力できている。今後においても、共生ビジョンの方向性を ふまえ、各種連携事業に取り組む。	
			実績値	—	—	—	—	—	—			
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保												
① 市民が主体的に地域づくりに 参画することができる環境・仕組みづくり												

小計(事業数:16、KPI数:14)

KPIの達成度／達成度A:11個 達成度B:2個 達成度C:1個 達成度D:0個

合計(事業数:51、KPI数:49)

KPIの達成度／達成度A:28個 達成度B:7個 達成度C:11個 達成度D:3個